



**谷 四男美** 議員（住民と自治の会）

## 平和教育の原点に立つ 教育環境を高めよ

**教育長** 教育活動と共に町の平和事業も活用する

**質問** 広島、長崎に原爆が投下され、来年で70年となる。日本は二度と戦争をしない平和を守る国づくりをしてきたが、最近の政治の流れは何かおかしい。先日、映画ひろしまを観た。1953年50万人の教職員が1人50円のカンパをして完成したこの映画には伝えなければならぬことが語られている。近隣の市でも子供達を広島に送り、原爆被害の実態を学ぶ活動を行っている。平和の原点を学ぶことは大切である。瑞穂町の取組みを問う。

**教育長** 教育委員会では、過去の悲惨な戦争の歴史を学ぶ事と同時に、今、日本や世界がどう対処しているのかわらざる事も大切と考える。学校では、児童・生徒の発達段階に応じて、各教科や道徳の授業を中心とした教育活動全体を通して、他者と共存できる感性を育み、平和な社会に貢献できる人材の育成を進めている。今後も町が主催する「平和のメッセージ」の募集など、町の平和事業も活用し、平和な社会の実現に向けて必要な素地を高めていくよう努める。



毎年3月に行われる「平和のメッセージ」表彰式（町民会館）

**こんな質問もありました**  
**オスプレイ機の横田基地配備に反対を**  
**町長** 国に対し、速やかな情報提供と住民への説明責任を果たすことを申し入れている。



**下野 義子** 議員（公明党）

## メンタルヘルスチェックシステム 「こころの体温計」の導入を

**町長** 今後、試験的、時限的に導入する

**質問** うつ病は「早期発見・早期対応」が適切な治療に結びつき、早期回復に繋がる。つまり、初期の「気づき」が大切なのである。そこで、携帯電話やPCを利用して、ストレス度や落ち込み度が誰にでも簡単にチェックでき、相談へと繋げていくことができるシステム「こころの体温計」の導入を提案する。他に、心を元気にする「こころのエンジン」やいじめを発見するためのメニューもあり、心のケアに繋がる有益なツールと考えるが。

**町長** 町では、うつ病の相談に対して、保健所などの関係機関との連携や、専門医療機関を紹介する対応を行っている。また、役場で

も、既にメンタルヘルス対策に取り組み、診断、治療、職場復帰のステップごとに対応しており、一般企業でも同様の対応が広がるところを期待している。提案されたチェックシステムは、現在の精神状態を把握し、うつ病を予防するための一つのツールとして注目している。今後、試験的、時限的に導入する。

**こんな質問もありました**  
**発達障害児者への支援のためにパネルノートの活用を**  
**町長** 現時点で、導入は考えていない。



「心の体温計」の本人モード結果画面（例）



**小山 典男** 議員（自民新国会）

## 自然災害に対する備えを どう強化するのか

**町長** 石畑地区に災害時医療拠点を整備する予定



災害時医療拠点予定地（石畑地区）

**質問** 現段階で最も懸念されるのは、東海・東南海・南海地震及び首都直下地震であるが、発生した場合には町居住者のほか、通勤者、青梅街道、国道16号等の幹線道路通過者を含めると人口を上回る滞留者が発生すると予測

される。避難だけではなく、帰宅困難者、負傷者への対応など、多くの困難事例を抱えることも予想される。瑞穂町地域防災計画に基く今後の町の対策を伺う。

**町長** 町は、大規模災害発生時に帰宅困難者を約1万人、滞留者を約3万4千人と試算している。国・都に対し、広域的対応の必要性・対策の強化を求め、町

石畑診療所の隣接地を取得し、緊急時の医療拠点として整備し、町内の医師・看護師の協力も得て、災害時医療体制を構築したい。

**齋藤 成宏** 議員（民主党）

## 期待の高まる「けやき館」、 有効活用に向けてさらなる検討を

**教育長** 認知度を高める施設運営を目指す



**質問** 11月、新たな郷土資料館「けやき館」が開館した。社会教育施設という重要な目的のほか、観光拠点として「みずほ・きらめき回廊」（水・緑と観光を繋ぐ回廊計画）の役割を併せ持つことから期待は大きい。今

後の有効活用に向けて、次のことを提案する。  
**問①** 小中学校を含めた多世代利用の促進を。  
**教育長** 各種イベントを計画し、多世代の交流が図れる場となる施設運営を目指す。  
**問②** 博物館資料調査等の良好な環境作りを。  
**教育長** 調査室・整理作業室や燻蒸室を備え、調査研究の面からも良好な環境となっている。  
**問③** テレビやSNS等を複合活用したPRを。  
**教育長** 多くのメディアに取り上げられるよう事業運営を進めていく。



「けやき館」 エントランスホールの航空写真（パースアイ瑞穂）

**こんな質問もありました**  
**児童・生徒を狙った傷害事件に地域の総力をあげた取り組みを**  
**町長** 多くの人の協力を得ながら、鋭意取り組む。  
**町長** 事業の整理縮小・継続の必要性を見極め、財源確保策を検証するよう指示してある。